

# GAKUSEN de ねんど フェスティバル2023

みなさんは、粘土で遊んだことがありますか？  
それから、「どれくらいの重さ」の粘土で  
遊んだことがありますか？

こんにちは、私たちは、愛知学泉短期大学・幼児教育学科に所属する山本ゼミです。子どもから大人まで多くの人は、粘土で遊ぶ際に、机の上の粘土量ぐらいしか、扱う機会や経験が無いと思います。中川織江氏による研究では、子どもに向けて「(制限無く)自由に取っていいですよ」と声をかけて粘土遊びをさせると5歳児の場合に平均で2.5kg持っていく、一番多くて15kgの粘土量を持っていったという結果があります(※)。年齢が上がるにつれて持っていく量は増えるため、小学生でそのような遊びをすれば、もう少したくさん量を持っていくことが予想できます。しかし、実際に市販されている油土や紙粘土を売り場で見てみると500g~1kg程度の量で売られている商品がほとんどで、小学校のお道具箱に入っている油土も、ケースに入った量はそれぐらいであり、沢山の粘土で遊ぶ機会は減多に無いでしょう。

そこで、今回私たちは、およそ1tの土粘土(25人で等分すると1人40kg)を準備して、参加する子ども達が身体全体を使って遊ぶことのできる粘土遊びを行いたいと考えています。山本ゼミの大学生がファシリテーター(支援する人)となり、このワークショップは始まりですが、子ども達の手から動き出した粘土に導かれながら粘土遊びはどんどん変化していくのではないかと想像します。日常のどんなことでも、どうなるのか分からない物語にはワクワクしますが、今回の造形ワークショップがそんな風になったら非常に嬉しく思います。

人数制限のある予約制のワークショップにはなりますが、皆様ぜひご参加ください。

※「粘土遊びの心理学 ヒトがつくる、チンパンジーがこねる」中川織江(風間書房・2005)

## [教員プロフィール]

山本辰典 -Tatsunori Yamamoto-

1987年愛知県幸田町生まれ。2012-2013年ALANUS HOCHSCHULE Bildende Kunst-SP Bildhauerei交換留学。2014年広島市立大学 芸術学研究科 博士前期課程 彫刻専攻 修了。現在、愛知学泉短期大学 専任講師。土地の歴史や風土を調査し、積み木や砂遊び、電車ごっこなどの子どもの造形遊びをヒントに立体、映像、インスタレーションなどの表現で作品を展開する。それらはまるで記憶をとどめておく装置のようである。主な個展に『忘却の遊戯場』(2018/蒲郡市博物館)、主なグループ展に『亀山トリエンナーレ2022』などのアーティスト活動がある。また、平成31年度・令和4年度浜松市創造都市推進事業補助金補助事業『改訂版 浜松雑纂』、『リポート 浜松雑纂』などアートエデュケーターとしての活動も積極的にしている。

## 【予約について】

右記QRからご予約ください。  
予約受付は8/1(火)10:00から。  
参加費は無料です。



※定員の25人になり次第、締め切ります。  
※ワークショップ中は、  
お子様だけでの実践になりますが、  
必ず保護者の方も同伴してください。

## 【集合場所と時間について】

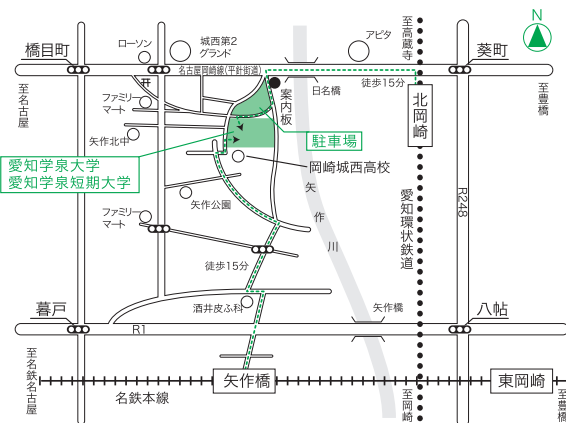
集合場所は、大学内1号館1Fラウンジ前。  
当日は9:30より受付を開始し、  
10:00からワークショップスタートです。

## 【服装について】

粘土遊びは、非常に汚れますので、  
汚れてもいい服装にて参加し、  
タオルや着替えなども必ずご用意ください。  
なお、ワークショップは裸足でも  
粘土に触れますので、ご理解ください。

## 【会場へのアクセス】

ワークショップ当日は、  
時間に都合のいい大学バスがありません。  
最寄りの公共交通機関をご利用いただくか、  
お車にて来校していただき、  
大学北側の駐車場をご利用ください。



愛知学泉大学・愛知学泉短期大学  
〒444-8520 愛知県岡崎市船越町上川成 28

## 【お問い合わせ先】

山本 辰典 (やまもと たつ の り)

E-mail : tsyamamoto@gakusen.ac.jp まで

山本ゼミのメンバー  
(愛知学泉短期大学・幼児教育学科 2年)

- ・森 潤哉
- ・加藤 みなみ
- ・草塩 海音
- ・中島 萌
- ・矢澤 有咲妃
- ・渡邊 稀々香

